

単元(題材)名	なかよしの き
---------	---------

【到達目標】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して話することができる。
思・判・表	○ 場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉えることができる。
	○ 物語などを読んで，内容や感想などを伝え合ったり，演じたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 絵や文が表していることを読み取り，絵や文から想像したことを楽しく話したり聞いたりしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。
思・判・表	○ 場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉えている。
	○ 絵物語を見て，内容や感想などを伝え合う活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 絵や文が表していることを読み取り，絵や文から想像したことを楽しく話したり聞いたりしている。

単元(題材)名	たのしい いちにち
---------	-----------

【到達目標】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して話することができる。
思・判・表	○ 伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫することができる。
	○ 伝えたいことを話したり，それらを聞いて声に出して確かめたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 楽しい学校生活を送るための基本となる，さまざまな場面であいさつをしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。
思・判・表	○ 伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫してあいさつしている。
	○ 伝えたいことを話したり，それらを聞いて声に出して確かめたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 楽しい学校生活を送るための基本となる，さまざまな場面であいさつをしている。

単元(題材)名	わたしの なまえ
---------	----------

【到達目標】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して話することができる。
思・判・表	○ 伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫することができる。
	○ 伝えたいことを話したり，それらを聞いて声に出して確かめたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 学校生活をしていくための基本となる，自己紹介をし合おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。
思・判・表	○ 自分のことを知らせるために，声の大きさや速さなどを工夫して自己紹介している。
	○ 自分の名前や自分のことなどを話したり，それらを聞いて確かめたり，自己紹介をし合っている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 学校生活をしていくための基本となる，自己紹介をし合っている。

単元(題材)名	おはなし　たくさん　ききたいな
---------	-----------------

【到達目標】

知・技	○ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。
思・判・表	○ 読み聞かせを聞いたり、本を読んだりして、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。
	○ 読み聞かせを聞いたり、物語を読んだりして、内容や感想などを伝える活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 読み聞かせのお話を聞くことで読書に親しみ、進んで本を読もうとする。

【評価規準】

知・技	○ 読書に親しみ、いろいろな本があることを理解している。
思・判・表	○ 読み聞かせを聞いたり、本を読んだりして、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
	○ 読み聞かせを聞いたり、物語を読んだりして、お話の内容や思ったこと・感じたことなどを伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 読み聞かせのお話を聞くことで読書に親しみ、進んで本を読んでいる。

単元(題材)名	こえの おおきさ どれくらい
---------	----------------

【到達目標】

知・技	
思・判・表	○ 伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫することができる。
	○ 伝えたいことを話したり，それらを聞いて声に出したりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面に応じて声の大きさを工夫しようとする。

【評価規準】

知・技	
思・判・表	○ 伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫している。
	○ 伝えたいことを話したり，それらを聞いて声に出したり，声の大きさを考えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面に応じて声の大きさを工夫している。

単元(題材)名	
---------	--

【到達目標】

知・技	○ 平仮名を読み，書くことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 書く姿勢や鉛筆の持ち方に注意して，平仮名を正しく書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 平仮名を読み，書いている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 書く姿勢や鉛筆の持ち方に注意して，平仮名を正しく書いている。

単元(題材)名	こえを あわせて あいうえお
---------	----------------

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
思・判・表	○ 伝えたい事柄に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。
	○ 伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出したりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 20・21ページの文を、口形に注意して、リズムを楽しんで音読しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 「あ・い・う・え・お」のつく言葉のリズムや響きなどに気をつけて音読している。
思・判・表	○ 友達と声を合わせて音読するために、大きさや速さなどを工夫している。
	○ 「こえを あわせて あいうえお」の文を、友達と声を合わせて音読している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「こえを あわせて あいうえお」の文を、口形に注意して、リズムを楽しんで音読している。

単元(題材)名	あいうえお
---------	-------

【到達目標】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して話すことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 「あ・い・う・え・お」のつく言葉を，口形に注意して正しく音読しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して，母音や，母音のつく言葉を音読している。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 「あ・い・う・え・お」のつく言葉を，口形に注意して正しく音読している。

単元(題材)名	みつけて はなそう, たのしく きこう
---------	---------------------

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。
思・判・表	○ 互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。
	○ 尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 教科書の絵や毎日の学校生活の中で、見たことやしたことを話したり聞いたりしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。
思・判・表	○ 校庭での様子を見ながら、相手の発言を受けて話をつないでいる。
	○ 尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 教科書の絵や毎日の学校生活の中で、見たことやしたことを話したり聞いたりしている。

単元(題材)名	かき、かぎ
---------	-------

【到達目標】

知・技	○ 句読点の打ち方を理解したり，平仮名を読んだり書いたりして，文の中で使うことができる。
思・判・表	○ 文字と文字との続き方に注意しながら，内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 濁音・半濁音の読み方・書き方や，清音が濁音・半濁音になった言葉の意味の違いを理解しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 句読点の打ち方を理解したり，濁音や半濁音を読んだり書いたりして，文の中で使っている。
思・判・表	○ 文字と文字との続き方に注意しながら，内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫している。
	○ 感じたことや想像したことを書く活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 濁音・半濁音の読み方・書き方や，清音が濁音・半濁音になった言葉の意味の違いを理解している。

単元(題材)名	ことばを あつめよう
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 身近なことを表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき，語彙を豊かにす
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 教科書の絵と言葉を対応させて，言葉を読んだり書いたりして，語彙を増やそうとする。

【評価規準】

知・技	○ 身近なことを表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき，語彙を豊かに
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 教科書の絵と言葉を対応させて，言葉を読んだり書いたりして，語彙を増やしている。

単元(題材)名	くまさんと　ありさんの　ごあいさつ
---------	-------------------

【到達目標】

知・技	○　語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
思・判・表	○　場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉えることができる。
	○　読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして，内容や感想などを伝え合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　くまさんとありさんが会ったときにしたことなどについて，場面の様子を話し合ったり，音読し合ったりしようとする。

【評価規準】

知・技	○　文字の大きさの違いなどに気をつけて音読している。
思・判・表	○　場面の様子やくまさんとありさんのしたことなど，内容の大体を捉えている。
	○　読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして，内容や感想などを伝え合う活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○　くまさんとありさんが会ったときにしたことなどについて，場面の様子を話し合ったり，音読し合ったりしている。

単元(題材)名	ねこ、ねっこ
---------	--------

【到達目標】

知・技	○ 促音の表記，句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使うことができる。
	○ 文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。
思・判・表	○ 語と語や文と文との続き方に注意しながら，内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 促音の読み方や書き方を理解するとともに，文の中における主語と述語との関係を理解しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 促音の表記，句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。
	○ 文の中における主語と述語との関係に気づいている。
思・判・表	○ 語と語や文と文との続き方に注意しながら，主語と述語がわかるように書き表し方を工夫している。
	○ 感じたことや想像したことを書く活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 促音の読み方や書き方を理解するとともに，文の中における主語と述語との関係を理解している。

単元(題材)名	ほんを よもう
---------	---------

【到達目標】

知・技	○ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。
思・判・表	○ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 図書館の役割を知り、読みたい本を探して読み、読書への親しみをもとうとする。

【評価規準】

知・技	○ 読書に親しみ、図書館にはいろいろな本があることを理解している。
思・判・表	○ 先生の読み聞かせを聞いたり自分で物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合う活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 図書館の役割を知り、読みたい本を探して読み、読書への親しみをもっている。

単元(題材)名	ことばを つなごう
---------	-----------

【到達目標】

知・技	○ 身近なことを表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき，語彙を豊かにす
	○ 「を」の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 語と語との続き方に注意しながら，内容がわかるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ クロスワードを考えながら，身近なことを表す語句の量を増やし，語彙を豊かにしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 身近なことを表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき，語彙を豊かに
	○ 「を」の使い方を理解して文や文章の中で使っている。
思・判・表	○ 語と語との続き方に注意しながら，クロスワードの内容がわかるように書き表し方を工夫している。
	○ 感じたことや想像したことを書く活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ クロスワードを考えながら，身近なことを表す語句の量を増やし，語彙を豊かにしている。

単元(題材)名	たのしく よもう 1
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
	○ 平仮名を読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 「あいうえおの うた」を、言葉のリズムや響きを楽しみながら読もうとする。

【評価規準】

知・技	○ 五十音と、五十音それぞれの音がつく言葉の響きなどに気をつけて音読している。
	○ 平仮名を読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 「あいうえおの うた」を、言葉のリズムや響きを楽しみながら読んでいる。

単元(題材)名	けむりの きしゃ
---------	----------

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
思・判・表	○ 場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉えることができる。
	○ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして，内容や感想などを伝え合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ おじいさんが流れ星にしたことを読み，場面の様子を思いうかべながら音読しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 場面の様子をもとに，会話文に気をつけて音読している。
思・判・表	○ おじいさんが，どこで，何をしたかなど，内容の大体を捉えている。
	○ 教師の読み聞かせを聞いたり自分で「けむりの きしゃ」を読んだりして，内容や感想などを伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 教師の後について音読したり，自分で音読したりして読んでいる。
	○ おじいさんが流れ星にしたことを読み，場面の様子を思いうかべながら音読している。

単元(題材)名	のぼす おん
---------	--------

【到達目標】

知・技	○ 長音の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 長音の読み方や書き方を理解し，文や文章で使おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 長音の使い方を理解して文や文章の中で使っている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 長音の読み方や書き方を理解し，文や文章で使っている。

単元(題材)名	せんせい, あのね
---------	-----------

【到達目標】

知・技	○ 文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。
思・判・表	○ 経験したことから書くことを見つけ、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 身近なことや経験したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 教師に知らせたいことを、相手にわかるように文に書いて知らせようとする。

【評価規準】

知・技	○ 「～は、～へ ～。」の文型を通して、主語と述語との関係に気づいている。
思・判・表	○ 教師に知らせるために、経験したことから書くことを見つけ、伝えたいことを明確にしている。
	○ 身近なことや経験したことを書く活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 教師に知らせたいことを、相手にわかるように文に書いて知らせている。

単元(題材)名	みんなに はなそう
---------	-----------

【到達目標】

知・技	○ 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。
思・判・表	○ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。
	○ 紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて感想を述べたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りのことや自分のことについてみんなに知らせたいことを、話したり聞いたりしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて話している。
思・判・表	○ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、みんなに話すために必要な事柄を選んでいる。
	○ クラスのみんなに紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて感想を述べたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りのことや自分のことについてみんなに知らせたいことを、話したり聞いたりしている。

単元(題材)名	たのしく よもう 2
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 「がぎぐげごの うた」を, リズムを楽しみながら音読しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 「がぎぐげご」の五十音とそこから浮かんできた言葉の響きなどに気をつけて音読している。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 「がぎぐげごの うた」を, リズムを楽しみながら音読している。

単元(題材)名	よく みて かこう
---------	-----------

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。
思・判・表	○ 経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 観察したことを記録する活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 今まで世話をしてきたことについて、気がついたことを観察記録に書いて、友達に知らせようとする。

【評価規準】

知・技	○ 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。
思・判・表	○ 世話をしてきたことから書くことを見つけ、気がついたことをまとめ、伝えたいことを観察記録に書いている。
	○ 観察したことを記録する活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 今まで世話をしてきたことについて、気がついたことを観察記録に書いて、友達に知らせている。

単元(題材)名	すずめの　くらし
---------	----------

【到達目標】

知・技	○　平仮名を読み，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○　事柄の順序などを考えながら，内容の大体を捉えることができる。
	○　事物の仕組みを説明した文章などを読み，わかったことや考えたことを述べる活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　「すずめの　くらし」についての問いと答えの内容を，文と写真を結びつけながら読もうとする。

【評価規準】

知・技	○　写真と重ねて平仮名を読み，文や文章を読んでいる。
思・判・表	○　写真と文章を重ねて考えながら，内容の大体を捉えている。
	○　すずめの暮らしをを説明した文章を読み，わかったことや考えたことを述べる活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○　「すずめの　くらし」についての問いと答えの内容を，文と写真を結びつけながら読んでいる。

単元(題材)名	しゃ, しゅ, しょ
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 拗音, 拗長音の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 拗音を含む言葉をみんなで声をそろえて読んだり, 各自で読んだりしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 拗音, 拗長音の使い方を理解して文や文章の中で使っている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 拗音を含む言葉をみんなで声をそろえて読んだり, 各自で読んだりしている。

単元(題材)名	たのしく よもう 3
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 「きゃきゅきよの うた」を, リズムを楽しみながら音読しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 「きゃきゅきよ」の五十音とそこから浮かんできた言葉の響きなどに気をつけて音読している。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 「きゃきゅきよの うた」を, リズムを楽しみながら音読している。

単元(題材)名	しらせたい ことを かこう
---------	---------------

【到達目標】

知・技	○ 長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文
思・判・表	○ 経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ，必要な事柄を集めたり確かめたりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 身近なことや経験したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 友達や家の人に知らせたいことを，相手にわかるように文に書いて知らせ合おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「 」)の使い方を理解して文や
思・判・表	○ 友達や家の人に知らせたいことから書くことを見つけ，必要な事柄を集めて，伝えたいことを明確にしている。
	○ 友達や家の人に知らせたいことを書く活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 教科書の文例で，何を，どう書けばよいか，書き方を理解している。
	○ 友達や家の人に知らせたいことを，相手にわかるように文に書いて知らせ合っている。

単元(題材)名	は, を, へ
---------	---------

【到達目標】

知・技	○ 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「は」「を」「へ」の助詞の読み方と使い方を理解し, 文や文章で使おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使っている。
思・判・表	○ 「は」「を」「へ」を使って, 感じたことや想像したことを書く活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「は」「を」「へ」の助詞の読み方と使い方を理解し, 文や文章で使っている。

単元(題材)名	としょかんへ いこう
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。
思・判・表	○ 文章を読んで感じたことやわかったことを共有することができる。
	○ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 図書館の役割を知り、読みたい本を探して読もうとする。

【評価規準】

知・技	○ 読書に親しみ、いろいろな本があることを理解している。
思・判・表	○ 図書館の役割や利用の仕方などわかったことを共有している。
	○ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合う活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 図書館の役割や利用の仕方を知り、読みたい本を探して読んでいる。

単元(題材)名	おはなしの　くに
---------	----------

【到達目標】

知・技	○ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。
思・判・表	○ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。
	○ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 挿絵を見ながらお話を思い出し、知っていることや話のあらすじなどを発表し合おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 読書に親しみ、いろいろな本があることを理解している。
思・判・表	○ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えて、知っている本を紹介し合っている。
	○ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合う活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 75～78ページの挿絵を見ながらお話を思い出し、知っていることや話のあらすじなどを発表し合っている。

単元(題材)名	おおきな かぶ
---------	---------

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
思・判・表	○ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。
	○ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ おじいさんやおばあさんがかぶを抜く様子を想像しながら読み、くり返しや言葉のリズムのおもしろさを味わい、音読や動作化をしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 「うんとこしょ、どっこいしょ。」の言葉の響きに気をつけて音読している。
思・判・表	○ 順に出てくる登場人物の様子や、かぶを抜く場面の様子など、内容の大体を捉えている。
	○ 教師の読み聞かせを聞いたり自分で「おおきな かぶ」を読んだりして、内容や感想などを伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 登場人物を出てくる順に確かめている。
	○ おじいさんやおばあさんがかぶを抜く様子を想像しながら読み、くり返しや言葉のリズムのおもしろさを味わい、音読や動作化をしている。

単元(題材)名	えにつき
---------	------

【到達目標】

知・技	○ 長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文
思・判・表	○ 自分の思いや考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
	○ 日記を書くなど，思ったことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ その日にあったことをよく思い出して絵日記を書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「 」)の使い方を理解して文や
思・判・表	○ 自分のしたことや思ったことが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。
	○ 絵日記を書いて，思ったことや伝えたいことを書く活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ その日にあったことをよく思い出して絵日記を書いている。

単元(題材)名	なつの おもいでを はなそう
---------	----------------

【到達目標】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して話すことができる。
思・判・表	○ 身近なことや経験したことなどから話題を決め，伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。
	○ 話し手が知らせたいことを集中して聞き，話の内容を捉えて感想をもつことができる。
	○ 報告など伝えたいことを話したり，それらを聞いたり感想を述べたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 夏休みにしたことを絵に描き，絵をもとに友達と話し合おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して，はっきりと話している。
思・判・表	○ 夏休みのできごとやしたことから話題を決め，伝え合うために必要な事柄を選んでいる。
	○ 友達が話しているときに絵を見ながら集中して聞き，話の内容を捉えて質問している。
	○ 報告など伝えたいことを話したり，それらを聞いたり感想を述べたりする活動している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 夏休みにしたことを絵に描き，絵をもとに友達と話し合おうとする。

単元(題材)名	かたかなの　ことば
---------	-----------

【到達目標】

知・技	○　片仮名を読み，書くとともに，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○　片仮名の言葉を，正しく読んだり書いたりしようとする。

【評価規準】

知・技	○　片仮名を読み，書くとともに，文や文章の中で使っている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○　片仮名の言葉を，正しく読んだり書いたりしている。

単元(題材)名	けんかした 山
---------	---------

【到達目標】

知・技	○ 第1学年に配当されている漢字を読み，漸次書き，文や文章の中で使うことができる。
	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
思・判・表	○ 場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉えることができる。
	○ 文章を読んで感じたことやわかったことを共有することができる。
	○ 読み聞かせを聞いたり物語を読んだりして，内容や感想などを伝え合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面ごとに，2つの山の様子や移り変わりを想像しながら読み，読み方を工夫して，音読しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
	○ 地の文や会話文に分かれ，言葉の響きなどに気をつけて音読している。
思・判・表	○ 2つの山や，他の登場人物の行動や様子など，内容の大体を捉えている。
	○ 物語を読んで感じたことやわかったことを共有している。
	○ 教師の読み聞かせを聞いたり自分で「けんかした 山」を読んだりして，内容や感想などを伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 各場面の大事な文をおさえながら行動，様子を詳しく読んでいる。
	○ 場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら，グループごとに音読の練習をしている。
	○ 場面ごとに，2つの山の様子や移り変わりを想像しながら読み，読み方を工夫して音読している。

単元(題材)名	かん字の はじまり
---------	-----------

【到達目標】

知・技	○ 第1学年に配当されている漢字を読み，漸次書き，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字のでき方を理解し，文や文章の中で使おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字のでき方を理解し，文や文章の中で使っている。

単元(題材)名	だれが、たべたのでしょうか
---------	---------------

【到達目標】

知・技	○ 文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。
	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。
	○ 事物の仕組みを説明した文章などを読み、わかったことや考えたことを述べる活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 生き物の食べあとについての問いと答えの内容に興味をもって、文と写真を結びつけながら読もうとする。

【評価規準】

知・技	○ 文の中における主語と述語との関係に気づいている。
	○ 文型を確かめながら、言葉の響きなどに気をつけて音読している。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 写真と文章を重ねながら、内容の大体を捉えている。
	○ 動物とその食べあとについて説明した文章を読み、わかったことや考えたことを述べる活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 生き物の食べあとについての問いと答えの内容に興味をもって、文と写真を結びつけながら読んでいる。

単元(題材)名	たのしかった ことを かこう
---------	----------------

【到達目標】

知・技	○ 長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 経験したことから書くことを見つけ，必要な事柄を集めたり確かめたりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 自分の思いや考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
	○ 身近なことや経験したことなど，見聞きしたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 楽しかったことやおもしろかったことを思い出し，したことや見たことの順に文章を書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「 」)の使い方を理解して文や
	新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 楽しかったりがんばったりしたことから書くことを見つけ，したことや見たことなどを集め，伝えたいことを明確にしている。
	○ 自分の思いや考えが明確になるように，できごとの順序に沿って簡単な構成を考えている。
	○ 身近なことや経験したことなど，見聞きしたことを書く活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 楽しかったことやおもしろかったことを思い出し，したことや見たことの順に文章を書いている。

単元(題材)名	かぞえうた／かぞえよう
---------	-------------

【到達目標】

知・技	○ 第1学年に配当されている漢字を読み，漸次書き，文や文章の中で使うことができる。
	○ 長く親しまれている言葉遊びを通して，言葉の豊かさに気づくことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 「かぞえうた」を音読し，言葉のリズムを楽しむとともに，漢数字を正しく読み書きし，ものを数える数え方を理解しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
	○ 長く親しまれている「かぞえうた」を通して，言葉の豊かさやリズムに気づいている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 「かぞえうた」を音読し，言葉のリズムを楽しむとともに，漢数字を正しく読み書きし，ものを数える数え方を理解している。

単元(題材)名	しを よもう
---------	--------

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
思・判・表	○ 場面の様子に着目して，登場人物の行動を具体的に想像することができる。
	○ 詩を読んで，内容や感想などを伝え合ったり，音読したりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 読み方を工夫したり様子を思い浮かべたりしながら，楽しく音読したり，自分の「あめの うた」を作ったりしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 五七調を基本とした言葉の響きなどに気をつけて音読している。
思・判・表	○ 雨と降る対象に着目して，降っている様子や擬音語からのイメージを具体的に想像している。
	○ 詩を読んで，内容や感想などを伝え合ったり，音読したりする活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 読み方を工夫したり様子を思い浮かべたりしながら，楽しく音読したり，自分の「あめの うた」を作ったりしている。

単元(題材)名	かきたい ことを よく おもいだして、かきましょう。
---------	----------------------------

【到達目標】

知・技	○ 長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ，必要な事柄を集めたり確かめたりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 身の回りの生き物のことについて，思ったことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りのものをよく見て，見つけた事柄が相手によくわかるように，文章を書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「 」)の使い方を理解して文や
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 身の回りの生き物から書くことを見つけ，その生き物の特徴をよく思い出し，伝えたいことを明確にしている。
	○ 身の回りの生き物のことについて，思ったことや伝えたいことを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りのものをよく見て，見つけた事柄が相手によくわかるように，文章を書いている。

単元(題材)名	一 かかれて いる ことを たしかめよう
---------	----------------------

【到達目標】

知・技	○ 身近なことを表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 事柄の順序などを考えながら，内容の大体を捉えることができる。
	○ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
	○ 事物の仕組みを説明した文章などを読み，わかったことや考えたことを述べる活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ いろいろな自動車のはたらきやつくりについて，書かれている事柄を詳しく読もうとする。

【評価規準】

知・技	○ 自動車の「やくわり」と「つくり」を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，語彙を豊かにしている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 「はたらく じどう車」に書かれている事柄の順序を考えながら，内容の大体を捉えている。
	○ 自動車の「やくわり」と「つくり」を表す語や文を考えて選び出している。
	○ 「はたらく じどう車」を読んで，わかったことや考えたことなどを発表している。
主体的に学習に取り組む態度	○ どんな自動車が出てきたか，ノートに書いている。
	○ いろいろな自動車のはたらきやつくりについて，書かれている事柄を詳しく読もうとしている。

単元(題材)名	一 かかれて いる ことを たしかめよう
---------	----------------------

【到達目標】

知・技	○ 長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 自分の思いや考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
	○ 観察したことを記録するなど，見聞きしたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 乗り物を題材にして，乗り物の「やくわり」や「つくり」がわかるように，つながりを考えて文章を書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「 」)の使い方を理解して文や
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 乗り物の「やくわり」や「つくり」が明確になるように，事柄のつながりを考えて簡単な構成を考えている。
	○ 知らせたい乗り物の「やくわり」や「つくり」について，書く活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 乗り物を題材にして，乗り物の「やくわり」や「つくり」がわかるように，つながりを考えて文章を書いている。

単元(題材)名	えを 見て おはなししよう
---------	---------------

【到達目標】

知・技	○ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。
思・判・表	○ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。
	○ 尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 絵をもとに、それぞれの登場人物になりきり、想像をふくらませて話し合いを進めようとする。

【評価規準】

知・技	○ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かに
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 教科書の絵と言葉を対応させて、言葉を読んだり書いたりして、語彙を増やしている。

単元(題材)名	かん字の ひろば ①
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 第1学年に配当されている漢字を読み，漸次書き，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 日付や曜日の漢字の読み方を理解し，日付や曜日を正しく読んだり書いたりしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 日付や曜日の漢字の読み方を理解し，日付や曜日を正しく読んだり書いたりしている。

単元(題材)名	二　しゃしんと　文から、だれが　なにを　したかを　たしかめよう
---------	---------------------------------

【到達目標】

知・技	○　語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
	○　新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○　場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。
	○　場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。
	○　読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合う活動ができる。
	○　経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、伝えたいことを明確にすることができる。
	○　簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　場面ごとに、白くまの親子の長い旅の様子や気持ちを、写真の情景に重ねながら読み、お話の内容をふまえ、白くまになったつもりで好きな

【評価規準】

知・技	○　(　)や「　」の気持ちや、言葉の響きなどに気をつけて音読している。
	○　新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○　場面の様子や白くま親子の行動など、内容の大体を捉えている。
	○　文章と写真に着目して、白くま親子の行動を具体的に想像している。
	○　読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、できごとの順序などを伝え合う活動をしている。
	○　経験したことなどから、時を表す言葉をもとに、子ぐまたちの成長の様子を明確にしている。
	○　白くま親子になったつもりで、感じたことや想像したことを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○　それぞれの写真で、だれが、何をしているのか話し合っている。
	○　子ぐまたちの成長を、時を表す言葉をもとに考えている。
	○　場面ごとに、白くま親子の長い旅の様子や気持ちを、写真の情景に重ねながら読み、お話の内容をふまえ、白くまになったつもりで好きな

単元(題材)名	二　しゃしんと　文から、だれが　なにを　したかを　たしかめよう
---------	---------------------------------

【到達目標】

知・技	○　長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「　」)の使い方を理解して文や文
思・判・表	○　経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ，必要な事柄を集めたり確かめたりして，伝えたいことを明確にすることができる。 ○　簡単な物語をつくるなど，感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　写真をよく見て，様々なことに気づき，想像を広げながらお話を書こうとする。

【評価規準】

知・技	○　長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「　」)の使い方を理解して文や
思・判・表	○　写真から聞こえてきた言葉から書くことを見つけ，必要な事柄を集めたり想像を広げたりして，伝えたいことを明確にしている。 ○　写真をもとにして，感じたことや想像したことなどを入れて簡単な物語をつくっている。
主体的に学習に取り組む態度	○　写真をよく見て，様々なことに気づき，想像を広げながらお話を書いている。

単元(題材)名	天に のぼった おけやさん
---------	---------------

【到達目標】

知・技	○ 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 読み聞かせを聞いて昔話に親しみ、友達に読み聞かせたり、読み聞かせを聞いたりしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 昔話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 読み聞かせを聞いて、内容や感想などを伝え合う活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 教師の読み聞かせを聞いて昔話に親しみ、友達に読み聞かせたり、友達の読み聞かせを聞いたりしている。

単元(題材)名	かたかな
---------	------

【到達目標】

知・技	☐ 片仮名を読み，書くとともに，文や文章の中で使うことができる。
	☐ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	☐ 片仮名で書く言葉に興味をもち，片仮名を正しく読んだり書いたりしようとする。

【評価規準】

知・技	☐ 片仮名を読み，書くとともに，文や文章の中で使っている。
	☐ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	☐ 片仮名で書く言葉に興味をもち，片仮名を正しく読んだり書いたりしている。

単元(題材)名	かん字の ひろば ②
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 第1学年に配当されている漢字を読み，漸次書き，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字にはいろいろな読み方があることを知って，正しく使い分けようとする。

【評価規準】

知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字にはいろいろな読み方があることを知って，正しく使い分けしている。

単元(題材)名	じぶんの 気持ちが つたわるように かきましょう。
---------	---------------------------

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 相手を考えて、自分の気持ちが伝わるように手紙を書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 経験したことなどから手紙に書くことを見つけ、必要な事柄を集めて、伝えたいことを明確にしている。
	○ 思ったことや伝えたいことを手紙に書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 相手を考えて、自分の気持ちが伝わるように手紙を書いている。

単元(題材)名	三 ばめんの ようすを くらべて よもう
---------	----------------------

【到達目標】

知・技	○ 読書に親しみ，いろいろな本があることを知ることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 場面の様子に着目して，登場人物の行動を具体的に想像することができる。
	○ 物語を読んで，内容や感想などを伝え合ったり，音読したりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の移り変わりとともに変わっていく，スイミーの気持ちや考えを読もうとする。

【評価規準】

知・技	○ 読書に親しみ，読書の楽しさを理解している。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 場面の様子に着目して，スイミーと，出会ったものたちとの様子を具体的に想像している。
	○ 「スイミー」を読んで，内容や感想などを伝え合ったり，音読したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の移り変わりとともに変わっていく，スイミーの気持ちや考えを読んでいる。

単元(題材)名	三 ばめんの ようすを くらべて よもう
---------	----------------------

【到達目標】

知・技	○ 言葉には，事物の内容を表す働きや，経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。
思・判・表	○ 文章を読んで感じたことやわかったことを共有することができる。
	○ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして，内容や感想などを伝え合ったり，演じたりする活動ができる。
	○ 学校図書館などを利用して本を読み，わかったことなどを説明する活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 動物が出てくる本を読んで，「おはなしどうぶつえん」を作り，本の紹介の仕方を工夫しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 言葉には，事物の内容を表す働きや，経験したことを伝える働きがあることに気づいている。
思・判・表	○ お話を読んで感じたことやわかったことを共有している。
	○ 物語を読んで，内容や感想などを伝え合ったり，カードに書いたりする活動をしている。
	○ 学校図書館を利用して動物の出てくる本を読み，「おはなしどうぶつえん」を作って本を紹介する活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 動物が出てくる本を読んで，「おはなしどうぶつえん」を作り，本の紹介の仕方を工夫している。

単元(題材)名	しを たのしもう
---------	----------

【到達目標】

知・技	☐ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
思・判・表	☐ 場面の様子を具体的に想像することができる。
	☐ 詩を読んで、内容や感想などを伝え合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	☐ 雪の種類や降り方を思い浮かべたり、読み方を工夫したりしながら、楽しく音読しようとする。

【評価規準】

知・技	☐ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
思・判・表	☐ 場面の様子を具体的に想像することができる。
	☐ 詩を読んで、内容や感想などを伝え合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	☐ 雪の種類や降り方を思い浮かべたり、読み方を工夫したりしながら、楽しく音読しようとする。

単元(題材)名	四 ぶんしょうと えを あわせて よもう
---------	----------------------

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。
思・判・表	○ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。
	○ 文章を読んで感じたことやわかったことを共有することができる。
	○ 事物の仕組みを説明した文章などを読み、わかったことや考えたことを述べる活動ができる。
	○ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
	○ 身近なことや経験したことなど、見聞きしたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 言葉だけではなく、「みぶり」も気持ちや考えを相手に伝えることを読み取り、自分たちがしている「みぶり」について、文章と絵でかこう

【評価規準】

知・技	○ 言葉だけではなく身振りも、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。
思・判・表	○ 「みぶりで つたえる」の中で取り上げられている身振りと自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。
	○ 文章と絵を重ねて読んで、感じたことやわかったことを共有している。
	○ 「みぶりで つたえる」を読んで、わかったことや考えたことを発表している。
	○ 自分の思いや考えが明確になるような身振りを考え、絵や文章を使って簡単な構成を考えている。
	○ 身近なことや経験した身振りなど、見聞きしたことを書く活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 95ページまでの絵に吹き出しをつけて、どんなことを伝えたいのかを書いている。
	○ 96・97ページの身振りはどんな時に、どんなことを伝えようとして使うのか考えている。
	○ 言葉だけではなく、「みぶり」も気持ちや考えを相手に伝えることを読み取り、自分たちがしている「みぶり」について、文章と絵でかい

単元(題材)名	文を つくろう
---------	---------

【到達目標】

知・技	○ 文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 主語・述語を基本に，修飾語を入れた文の作り方を理解しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 文の中における主語と述語との関係とともに，修飾語を加えることで様子がよくわかることに気づいている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 主語・述語を基本に，修飾語を入れた文の作り方を理解している。

単元(題材)名	かん字の ひろば ③
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 第1学年に配当されている漢字を読み，漸次書き，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字にはいろいろな読み方があり，組み合わせた言葉によって読み方も変わることを理解しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字にはいろいろな読み方があり，組み合わせた言葉によって読み方も変わることを理解している。

単元(題材)名	五 きいた ことを 正しく つたえよう
---------	---------------------

【到達目標】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して話することができる。
思・判・表	○ 伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫することができる。
	○ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き，話の内容を捉えて感想をもつことができる。
	○ 紹介や説明など伝えたいことを話したり，それらを聞いて感想を述べたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 学校で働く人たちに話を聞き，新しく知ったことをメモにまとめて，メモを見ながら伝えたり，話を聞いたりしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。
思・判・表	○ 聞いてきたことをクラスの人に話すために，声の大きさや速さなどを工夫している。
	○ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き，話の内容を捉えて感想をもっている。
	○ 学校で働く人に聞いてきたことを話したり，それらを聞いて感想を述べたりする活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ グループに分かれ，それぞれに，学校で働いている人の中から話を聞きたい人と，聞きたいことを決めている。
	○ 学校で働く人たちに話を聞き，新しく知ったことをメモにまとめて，メモを見ながら伝えたり，話を聞いたりしようとする。

単元(題材)名	ことばで つたえよう
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 言葉には絵に表せるものだけでなく、感じたことや思ったことなども伝える働きがあることを理解しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 言葉には、事物の内容を表す働きや、感じたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 言葉には絵に表せるものだけでなく、感じたことや思ったことなども伝える働きがあることを理解している。

単元(題材)名	六 つたえたい ことを おもい出して かこう
---------	------------------------

【到達目標】

知・技	○ 長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文
思・判・表	○ 文章を読み返す習慣を付けるとともに，間違いを正したり，語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。 ○ 文章に対する感想を伝え合い，自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。 ○ 身近なことや経験したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ この一年間の思い出の中でいちばん心に残っていることを文章に書き，友達や家の人に伝えようとする。

【評価規準】

知・技	○ 長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ(「 」)の使い方を理解して文や
思・判・表	○ 文章を読み返す習慣を付けるとともに，間違いを正したり，「文の きまり」(162ページ)に気をつけて見直したりしている。 ○ 文章に対する感想を伝え合い，自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。 ○ 一年間の思い出の中でいちばん心に残っていることを書く活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ この一年間の思い出の中でいちばん心に残っていることを文章に書き，友達や家の人に伝えている。

単元(題材)名	かん字の ひろば ④
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 第1学年に配当されている漢字を読み，漸次書き，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の形や部分に，同じところ，違うところがあることを知り，正しく読んだり書いたりしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の形や部分に，同じところ，違うところがあることを知り，正しく読んだり書いたりしている。

単元(題材)名	なかまの　ことばで、しりとりを　たのしみましょう。
---------	---------------------------

【到達目標】

知・技	○　長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○　「なかまの　ことば」(上位概念の言葉)を意識して「しりとり」をし、語彙を増やすとともに、言葉の仕組みを理解しようとする。

【評価規準】

知・技	○　「なかまの　ことば」で「しりとり」遊びをして、言葉の豊かさに気づいている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○　「なかまの　ことば」(上位概念の言葉)を意識して「しりとり」をし、語彙を増やすとともに、言葉の仕組みを理解している。

単元(題材)名	七 ようすを おもいかべながら よもう
---------	---------------------

【到達目標】

知・技	○ 文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。
思・判・表	○ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。 ○ 文章を読んで感じたことやわかったことを共有することができる。 ○ 物語を読んで、内容や感想などを伝え合う活動ができる。 ○ 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。 ○ 手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 手紙を待つがまくん、手紙を出したかえるくん、その二人の様子や気持ちを想像しながら読み、登場人物の心情を思いかべながら、その一人に手紙を書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ がまくんとかえるくん、どちらが何をしたかを確かめ、主語と述語との関係に気づいている。
思・判・表	○ 物語を読んで心に残ったことを自分の体験と結び付けて話し合っている。 ○ 126～127ページの絵と、134～135ページの絵とを比べる話し合いを共有している。 ○ 「お手がみ」を読んで、内容や感想などを伝え合っている。 ○ それぞれに書いた手紙に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。 ○ 手紙を書くなど、登場人物に対する自分の思いを書く活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ がまくんとかえるくん、それぞれどこでどんなことをしたか、お話の順序を友達と話している。 ○ このお話の好きなところを選んで紹介し合い、その訳を話している。 ○ 手紙を待つがまくん、手紙を出したかえるくん、その二人の様子や気持ちを想像しながら読み、登場人物の心情を思いかべながら、その一人に手紙を書いている。

単元(題材)名	こくごの がくしゅう
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 文の中における主語と述語との関係に気づくなど、この1年の国語学習で学んだことに注意して書くことができる。
思・判・表	○ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選び、友達に話したり書いたりすることができる。
	○ 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動ができる。
	○ この1年間をふり返り、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明
	○ これまでの学習をまとめ、身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動ができ
主体的に学習に取り組む態度	○ この1年間の国語の学習をふり返りながら、これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 文の中における主語と述語との関係に気づくなど、この1年の国語学習で学んだことに注意して書いている。
思・判・表	○ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選び、友達に話したり書いたりしている。
	○ 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動をしている。
	○ この1年間をふり返り、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを
	○ これまでの学習をまとめ、身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたこと書く活動をして
主体的に学習に取り組む態度	○ この1年間の国語の学習をふり返りながら、これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合っている。